

研 修 報 告 書

令和5年5月1日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 伊藤喜久雄

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 湖北長浜の地域医療と病院再編を考える
2. 研修日時 令和5年4月29日（土）14時～16時
3. 研修場所 臨湖（多目的ホール）
4. 研修テーマ どうする長浜、これからの医療を考える
5. 講師 城西大学経営学部教授 伊関友伸氏
6. 研修内容と感想

■内容

- ①病院経営のプロが語る、持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインの方向性について
- ②人口減少のまち・医師の働き方改革 将来を見越した病院のあり方
- ③どのような経営が良いのか 独自の調査から紐解く

■感想

医師の働き方改革の令和6年4月スタートを目前に、地域医療の専門家で数々の病院統合・再編に関わってこられた伊関先生の講演を通じ、公立病院の経営強化に向けた取り組みをはじめ、市立長浜病院と市立湖北病

長 浜 市 議 会

院、長浜赤十字病院の病院再編に向けた様々な視点（以下のとおり）をもつことの重要性を学びました。

《視点》

- ① 高度急性期の集約化は時代の流れであり、現在の市立長浜病院と長浜赤十字病院では「医療提供機能が中途半端なものとなっている」「診療科の分担には限界がある」と指摘され、集約後は「医師 200 人をめざす病院と、長浜市の弱点である療養・回復期機能を担う病院をつくるべき」
- ② 経営統合（形態）については、独立行政法人化、指定管理者制度を検討するなかで、病院職員（スタッフ）の雇用が課題となる
- ③ 統合を進めるうえで、市民や患者さんへの徹底的な情報提供が不可欠であり、「市民や患者さんの意見によく耳を傾け、データを基に議論を行い、医療現場の意見を聞くこと」
- ④ あくまでも医療再編を決めるのは、3 病院と市民であり、「全員が折り合える結論を導き出してほしい」「三方よしの医療再編を」

※市民の命と健康を守る砦としての 1 丁目 1 番地である湖北地域の 3 病院における、今後の地域医療提供サービスの確保に向け、病院再編は不可避であり、様々な視点で議論をしていくことの重要性を改めて痛感いたしました。